

第 83 号【2014/5/1 発行】

発行元：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『病院長就任のご挨拶』

病院長 世良田 和幸

●新副院長就任のご挨拶

●医師の配属・異動・退職

●診療統計

●臨床研修医のご紹介

●医療連携室からのお知らせ

●コメディカルリレー紹介

●患者さんへのお知らせ



紫陽花

巻頭言

『病院長就任のご挨拶』



病院長 世良田 和幸

この度、田口 進先生の後任として病院長を拝命致しました世良田和幸です。田口先生は、初代院長の黒川 高秀先生の後、11 年の間、2 代目の院長として今日の北部病院の発展に多大なる御尽力を賜りました。私は、その後半の 6 年間を微力ながら副院長として努めさせて頂きました。この 4 月からの院長就任後は、田口先生の路線を守っていくことは当然のことながら、私なりに横浜市における中核病院である北部病院を地域の方々に、より信頼され、より親しみやすい病院にしたいと考えています。

私は、1976 年（昭和 51 年）に昭和大学を卒業後、麻酔科の大学院を経て、手術室とペインクリニック外来で 38 年間従事してきました。手術室では、「手術」というチーム医療の典型とも思われる環境の中で、麻酔科医としてその中心的な役割を担ってきたという多少の自負はあります。チーム医療とは、患者さんを中心に、医師や看護師、CE（臨床工学士）や薬剤師などそれぞれの医療従事者が、専門性を持った視点と技術で患者さんの治療に携わり、適切な医療は勿論ですが、早期診断、早期治療、早期退院を目指す医療を施すことだと考えています。麻酔科医が働く場所というのは、院内でも最も患者さんが不安になるところです。患者さんにお会いするのは、手術前や術後の回診時の短時間ではありますが、手術中に全身麻酔にかかり意識の無い状態でも、麻酔に対する不安をいかに取り除き安心して手術をうけられるかということに誠心誠意尽くしてきたつもりです。また、ペインクリニック外来では、原因のわからない痛みをかかえる多くの患者さんと向き合ってきました。慢性痛に対しては、神経ブロック注射やストレッチ、漢方薬や鍼治療、アロマセラピーなどを駆使して、痛みの緩和を目指してきました。

そういう治療の日々の中で外科、内科の先生方ともコミュニケーションを得ることができたと思っています。昭和大学横浜市北部病院は、大学病院の使命としての臨床、教育、研究は今後も継続して行わなければなりませんが、横浜市の地域中核病院としての使命もあり、患者さんやその家族のための医療の効率化と安全性を追求し、担保できる病院でなければならないと思います。しかし、全ての疾病に対処するには限界があります。現在、当院を受診するためには原則として各医療機関からの紹介状が必要ですが、それは、大学病院として高度な医療を提供するための一つの手段であり、地域の医療機関との役割分担を明確にしていける必要があるからです。

私が今後の北部病院に力を注ぎたいのは、患者さんが病院の回転ドアを入ったときに感じていただける温かい病院の雰囲気作りです。色調も含めて、総合受付や初診受付、各科の受付、会計などの応対や言葉遣いなどの接遇、院内を移動する職員の挨拶などの言動、初めての人でも分かりやすい案内表示、診療や検査を待つ患者さんへの分かりやすい表示や待ち時間の工夫、病棟での対応や面会の方々への心遣い、等々の出来る優しい病院作りです。そのためには、北部病院に勤めている約 1200 人の職員全員が病院を良くしようと思う共通の認識を持つことが最重要と考えます。そして、職員皆がこの北部病院に勤務していることを誇れるような、自負と責任を持てるような環境作りにも順次着手していきたいと思っています。

患者さんやそのご家族のご意向を尊重し、高度な医療を提供できる大学病院として、また地域の中核病院としての役割を遂行できる病院を目指したいと考えております。

新副院長就任のご挨拶



副院長 福成 信博

5 月は、若葉も生い茂り、生命の息吹を感じる月であり、多くの場所で新たな人と巡り会う季節でもあります。当院も 2014 年度を迎え、多くのフレッシュな医療者と共に臨床の現場にたっております。私はこの度、4 月より北部病院副院長を拝命した外科の福成です。成島副院長と共に世良田院長を補佐し、全力を果たす所存です。

私自身の専門は、外科・内分泌外科であり、数多くの甲状腺の患者さんを当院で拝見致しております。様々な症状や訴えを持って来院される方や、全く自覚症状は無いものの他の検査にて甲状腺異常を指摘され来院される方など、その受診起点は皆さん異なりますが、多くの方が不安に思い、気にされているのは「福島原発事故後の甲状腺異常」に関してです。私自身も福島県健康管理調査（18 才未満の甲状腺超音波検査）に協力し、今も学外委員会の委員を務めておりますが、2011 年の秋に最初に検診を開始した際、幼い子供を持つ親御さんの沈痛な眼差しを忘れる事はありません。

福島原子力発電所の事故は福島の方々には直接的に二重の苦しみ・悲しみをもたらしました。生まれ育った故郷に住めないばかりか、家族が離散して住まなければいけない状況、そして生計の糧となる農産物・畜産物・海産物を出荷できない状況が一部では続きました。当時、私たちの地域でも計画停電が実施され、対応に四苦八苦したことを思い出されます。しかし、被災地の方々のご苦労・悲しみを慮れば、万分の一にも及ばないでしょう。原発の是非は別として、今回の原発事故は、電力会社とそれを監督する行政機関および一部の御用学者の馴れ合いという土壌のなかで起こるべくして起こった事故と言うしかないと思います。原発の稼働には三重、四重のバックアップ体制の整備はもちろん、いざという時にそれらを正常に作動させるための日々の訓練が不可欠です。

翻って、医療におけるインシデント、アクシデントについても同じことが言えます。「To err is human. 人は間違いを犯す」これが前提です。インシデント、アクシデントが起こった背景因子を十分に解析し、再発予防策を立て、実行することは今や病院組織では当然のことです。しかし、これも時間の経過とともに形式化、形骸化する傾向にあることは注意しなければなりません。常に職員一人一人が緊張感を持って職務に当たることが求められます。

春は新入職員を迎えます。自分自身が入職した頃を思い出し、新しい仲間を広い度量を持って育てていきましょう。これも歴史（自分自身の過去の経験）から学び、より良い未来を創ることに繋がります。よろしくお願いいたします。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

4 月～5 月

【新規採用】



加賀 まこと
(消化器センター)
浜松医大
平成 4 年卒



片岡 香絵
(放射線科)
聖マリ大
平成 22 年卒



穴戸 華子
(消化器センター)
千葉大
平成 20 年卒



迫 智也
(消化器センター)
浜松医大
平成 21 年卒



石橋 史明
(消化器センター)
東京医科歯科大
平成 22 年卒



小金澤 征也
(こどもセンター)
帝京大
平成 22 年卒



武重 由依
(内科)
昭和大
平成 19 年卒



葉梨 喬広
(メンタルケアセンター)
昭和大
平成 22 年卒



小金丸 泰史
(メンタルケアセンター)
帝京大
平成 22 年卒



大内 宏美
(メンタルケアセンター)
杏林大
平成 19 年卒



伊津野 拓司
(メンタルケアセンター)
昭和大
平成 21 年卒



高橋 茜里
(メンタルケアセンター)
東京女子医大
平成 23 年卒



富田 秋沙
(メンタルケアセンター)
関西医科大
平成 23 年卒



島田 麻里
(消化器センター)
新潟大
平成 21 年卒

【附属施設より】



稲本 淳子
(メンタルケアセンター)
烏山病院
精神神経科より



馬場 俊之
(消化器センター)
昭和大学病院
消化器内科より



廣瀬 佑輔
(産婦人科)
昭和大学病院
産婦人科より



市塚 清健
(産婦人科)
昭和大学病院
産婦人科より



齋藤 克幸
(女性骨盤底再建センター)
藤が丘病院
泌尿器科より



片桐 敦
(消化器センター)
昭和大学病院
消化器内科より



池田 純
(整形外科)
昭和大学病院
整形外科より



鈴木 淳一
(こどもセンター)
昭和大学病院
小児外科より



富永 牧子
(こどもセンター)
横浜市北部病院
非常勤臨床女性医師より



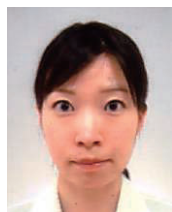
富岡 大
(メンタルケアセンター)
烏山病院
精神神経科より



矢島 秀起
(こどもセンター)
昭和大学病院
小児科より



山崎 武士
(こどもセンター)
昭和大学病院
小児科より



新井 真衣
(こどもセンター)
藤が丘病院
小児科より



吉田 健也
(眼科)
昭和大学東病院
平成 23 年卒



松本 祐樹
(女性骨盤底再建センター)
藤が丘病院
泌尿器科より



大橋 傑
(救急センター)
藤が丘病院
整形外科より



齋藤 佑介
(内科)
藤が丘病院
消化器内科より



南 壮介
(メンタルケアセンター)
烏山病院
精神神経科より

【附属施設より】



長谷川 澄
(メンタルケアセンター)
烏山病院
精神神経科より



平田 亮人
(メンタルケアセンター)
烏山病院
精神神経科より



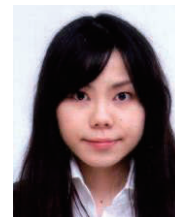
梅澤 かおり
(メンタルケアセンター)
烏山病院
精神神経科より



大川 裕子
(皮膚科)
昭和大学東病院
皮膚科より



奥村 恵子
(皮膚科)
藤が丘病院
皮膚科より



大曾根 敬子
(麻酔科)
昭和大学
全身管理歯科学講座より



宮久保 あや子
(歯科・歯科口腔外科)
昭和大学歯学部より



湯浅 研
(歯科・歯科口腔外科)
昭和大学歯学部より

【内科研修医より】



鈴木 謙一
(消化器センター)
埼玉医大
平成 23 年卒



漆原 史彦
(消化器センター)
昭和大
平成 23 年卒



趙 智成
(消化器センター)
昭和大
平成 23 年卒



内山 正信
(内科)
昭和大
平成 23 年卒



高橋 剛
(内科)
昭和大
平成 23 年卒

【初期臨床研修医より】



道姓 拓也
(麻酔科)
平成 23 年卒



安藤 晋介
(こどもセンター)
平成 22 年卒



竹内 美緒
(耳鼻咽喉科)
平成 24 年卒



井川 渉
(心臓血管カテテル室)
平成 24 年卒

内科研修医



小野 盛夫
(心臓血管カテテル室)
平成 24 年卒

内科研修医



木戸 岳彦
(心臓血管カテテル室)
平成 24 年卒

内科研修医



黒川 信二
(内科)
平成 24 年卒

内科研修医



黒田 佑介
(呼吸器センター)
平成 24 年卒

内科研修医

【配置転換】

- ・石垣 智之（消化器センター ⇒ 救急センター）
- ・山本 明和（心臓血管カテテル室 ⇒ 救急センター）
- ・加藤 雅典（救急センター ⇒ 内科）
- ・竹島 亜希子（内科 ⇒ 救急センター）

【学外研修終了】

- ・ 釋尾 知春（麻酔科）
- ・ 八木 進也（放射線科）
- ・ 山下 皓正（外科）
- ・ 一政 克郎（救急センター）
- ・ 鈴木 道隆（消化器センター）
- ・ 磯崎 桂太朗（こどもセンター）
- ・ 武田 健一（消化器センター）
- ・ 山内 章裕（消化器センター）
- ・ 山下 賢之介（心臓血管カテテル室）
- ・ 佐藤 雄太（消化器センター）
- ・ 加藤 一樹（消化器センター）
- ・ 小口 理英（麻酔科）
- ・ 逸見 範幸（整形外科）
- ・ 堀内 一哉（呼吸器センター）
- ・ 三沢 志保（内科）
- ・ 肥田 典子（呼吸器センター）

異動 退職医師

4月～5月

【附属病院へ】

- ・井上 学（内科 ⇒ 藤が丘病院 脳神経内科）
- ・佐々木 康（産婦人科 ⇒ 藤が丘病院 産婦人科）
- ・中神 智和（こどもセンター ⇒ 藤が丘病院 小児外科）
- ・村上 悠斗（救急センター ⇒ 藤が丘病院 整形外科）
- ・大山 伸雄（こどもセンター ⇒ 昭和大学病院 小児科）
- ・児玉 雅彦（こどもセンター ⇒ 藤が丘病院 小児科）
- ・横山 佐知子（メンタルケアセンター ⇒ 烏山病院 精神医学科）
- ・東 一成（メンタルケアセンター ⇒ 昭和大学東病院 精神医学科）
- ・柳井 亮（昭和大学病院 リウマチ・膠原病内科）

【学外研修】

- ・岩本 泰斗（麻酔科）
- ・ 菰原 洋輔（呼吸器センター）
- ・ 玉置 秀司（外科）
- ・加藤 雅典（救急センター）
- ・ 豊嶋 直也（消化器センター）
- ・ 矢川 祐介（消化器センター）
- ・工藤 孝毅（消化器センター）
- ・ 中村 大樹（消化器センター）
- ・ 滝口 修平（耳鼻咽喉科）
- ・小金澤 征也（こどもセンター）
- ・ 漆原 史彦（消化器センター）
- ・ 鈴木 謙一（消化器センター）
- ・趙 智成（消化器センター）
- ・ 丹澤 盛（呼吸器センター）
- ・ 野村 奈央（産婦人科）

【退職】

- ・大越 章吾（消化器センター）
- ・ 内田 恒之（消化器センター）
- ・ 青木 麻梨（メンタルケアセンター）
- ・谷坂 愛（放射線科）
- ・ 殿内まどか（放射線科）
- ・ 大場 啓一郎（放射線科）
- ・齋藤 美穂（皮膚科）
- ・ 佐藤 裕樹（救急センター）
- ・ 谷坂 優樹（救急センター）
- ・杉原 雄策（消化器センター）
- ・ 飯田 剛士（皮膚科）
- ・ 福原 隆一郎（放射線科）
- ・山田 英介（メンタルケアセンター）
- ・ 押尾 朋範（メンタルケアセンター）
- ・ 国井 健太（外科）

診療統計

2013年2月～3月統計データ（）内は1日平均

診療実日数 2月（入院：28日・外来：23日）、3月（入院：31日・外来：25日）

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
2月	28,079人(1,220.8人)	16,116人(575.6人)	346件(12.4件)	615件(32.4件)
3月	30,177人(1,207.1人)	17,448人(562.8人)	333件(10.7件)	603件(30.2件)

平成26年度臨床研修医紹介

この4月、初期臨床研修医第11期生9名を迎え入れ、新年度がスタートしました。医師国家試験を突破し、晴れて医師という資格を得た者達ではありますが、まだまだ知識も経験も足りません。期待されるべき医療プロフェッショナルに少しでも近づけるよう、この2年間様々な科をローテーションしながら、大いに実力をつけていってほしいと思います。学生実習とは異なり、まさに on the job training(OJT) 毎日が自らを鍛える場です。しかし、ただ数多くの経験を積むというだけでは、なかなか医療のプロには近づけません。医師になりたての頃はとかく専門的な知識・技術の習得に目が奪われがちですが、医師として重要な人間性、利他主義といった資質の涵養も必然であり、医系総合大学としての昭和大学が掲げるコンピテンシーがそこにはあります。「至誠にして動かざるものは、未だ之れ有らざる也。」患者さんの視点に立った安全、安心な医療をいかに提供できるかが問われる訳です。

我々指導医は、グライダー曳航機のごとく、君たちが2年間の研修の後、無事に大空へ羽ばたいていってくれるよう力になりたいと思っています。時には非効率なこともあるかもしれませんが、遠き頂を仰いで努力を惜しまない、それが将来の君たちの血肉となるものと信じています。どうか“未来の希望の星”を目指して充実した研修医生活を送ってください。

研修管理委員長 成島道昭

小池 亮 (コイケ リョウ)	佐藤 若菜 (サトウ ワカナ)	城内 和史 (シロウチ カズフミ)
5月:内科 6月:内科	5月:内科 6月:内科	5月:消化器センター(内科) 6月:消化器センター(内科)
		
武重 千沙 (タケシゲ チサ)	百々 悠介 (トド ユウスケ)	南雲 佑 (ナグモ タスク)
5月:外科 6月:呼吸器センター(内科)	5月:救急センター 6月:内科	5月:消化器センター(外科) 6月:救急センター
		
山内 英也 (ヤマウチ ヒデア)	渡邊 由祐 (ワタナベ ユウスケ)	宮木 紀代 (ミヤキ キヨ)
5月:麻酔科 6月:画像緩和	5月:心臓血管カテテル室 6月:心臓血管カテテル室	5月:こどもセンター 6月:画像緩和
		

当院は臨床研修指定病院となっております。

時間外救急外来を受診される患者さんの初期対応を上級医指導のもと研修医も行います。

卒後臨床研修とは、良質な医療を安定的に供給できるよう、卒業直後の医師に幅広い臨床の基本的な能力を身につけさせるという趣旨によるものです。

臨床研修医の教育を行うためにも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

地域医療連携室からのお知らせ

昭和大学横浜市北部病院は**地域の中核病院**として高度な医療を提供してくために地域の医療機関と役割分担を行っています。そのため、患者さんに最適な医療を提供していくために「**かかりつけ医(ファミリードクター)**」を推奨しています。

また、病気の症状が安定した患者さんは服薬管理や生活指導をファミリードクターにお願いするため、再び紹介させて頂いております。

港北区・緑区・青葉区の先生方のプロフィールを順次ご紹介していきます。地域の医療機関の先生方の住所・診療時間・科目やドクターの人となり、得意分野などにもスポットをあてて紹介しています。“かかりつけ医”の情報源としてお役に立てれば幸いです。

(過去掲載分(都筑区の先生方)につきましては北部病院HPをご参照下さい。)

<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/guide/pr/press/>



※ご提出頂いた順で掲載しております。

胃腸内科／内科

東急東横線綱島駅より徒歩6分

井上胃腸科・内科クリニック

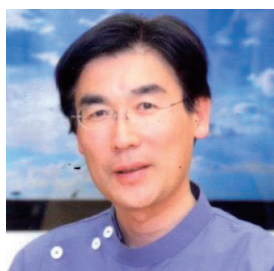
港北区綱島西2-16-19第2吉田ビル2階

TEL: 045-540-7754

<http://www.f-inoueclinic.jp>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	◎	-	-
15:00～18:00	●	●	-	●	●	◎	-	-

◎土曜日は9:00～11:30、15:00～17:00



院長 井上 冬彦 先生

過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎、逆流性食道炎などの胃腸病の治療を主体におこなっていますが、「かかりつけ医」として高血圧や感冒といった一般内科にも対応しています。当院の特徴は、自然治癒力を高める医療で、西洋医学だけではなく漢方や食養生などを取り入れたホリスティックな医療を目指しています。また、院長、副院長ともに日本内視鏡学会認定専門医・指導医で、鎮痛剤や鎮静剤を使った苦痛の少ない上部および下部内視鏡を使っています。日帰りポリープ切除も可能です。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: 自然治癒力を高める医療
- 趣味/特技: 自然写真(プロ写真家)

皮膚科

横浜市営地下鉄岸根公園駅より徒歩1分

岸根公園皮膚科

港北区篠原町1129-203

TEL: 045-439-7511

<http://nttbj.itp.ne.jp/0454397511/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	●	●	●	-	●	◎	-	-
15:00～18:30	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前は10:00～13:15

皮膚科の専門的知識を活用して、患者様のご要望に沿った適切な診療を心がけております。



院長 宮川 加奈太 先生

横浜日吉健診センターMEDOC

港北区日吉2-9-3

TEL: 045-565-0751

<http://www.kensuikai-medoc.jp>

院長 内藤 哲夫 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30～13:30	●	●	●	●	●	◎	-	-
13:30～15:30	●	●	●	●	●	-	-	-

◎土曜日の午前は8:30～11:30

近年、生活習慣の変化や高齢化の進展に伴い、三大生活習慣病や婦人科疾患が増加しています。そのため、病巣の早期発見、早期治療への関心が高まっております。MEDOCでは、豊富な経験を積んだスタッフと最新の設備を揃え、皆様一人一人のご要望にお応えできる健診メニューをご用意致しました。皆様をはじめとした社会全体の健康管理の為にMEDOCがお役に立てればと思っております。皆様のお越しをお待ちしております。

ふじくら循環器科・内科

青葉区美しが丘2-14-7

TEL: 045-903-9006

<http://www.fujikura-clinic.com/>

院長 藤倉 寿則 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	-	●	●	●	-
15:00～18:30	●	●	-	-	●	●	-	-

※毎週金曜日は北部病院心臓血管カテーテル室医師が担当いたします

高血圧、心臓病、不整脈などの循環器疾患を中心に専門医として対応いたします。糖尿病についてはインスリン治療も対応いたします。

毎週金曜日は北部病院心臓血管カテーテル室(循環器内科)の医師が外来を担当しております。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: 初心忘れるべからず
- 趣味/特技: 旅行

霧が丘クリニック

緑区霧が丘3-8-1

TEL: 045-920-0331

<http://www.kirigaokaclinic.jp/>

院長 児島 弘臣 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～19:00	●	●	●	●	●	●	-	●

当院は人工透析のクリニックです。患者さんとは長いお付き合いになりますので、温かみの感じられるアットホームな雰囲気を目指しています。

そして、明るく快適に治療を続けていただけるよう、スタッフと共に医療安全を第一とし、患者さんの言葉に間違いに耳を傾け、易しい言葉での説明を心掛けています。患者さんに元気に長生きしていただけるようお手伝いしたいと思います。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: 感謝の心を忘れずに
- 趣味/特技: ドライブ、カラオケ

三瓶眼科

緑区十日市場町871-17

Tel: 045-984-2980

http://www.yoppi.ne.jp/assyste/
re_detail.asp?ass_id=6693&kind=3

院長 三瓶 重人 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	-	●	●	◎	-	-
15:00～18:30	●	●	-	●	●	-	-	-

◎土曜日の午前は9:00～13:00

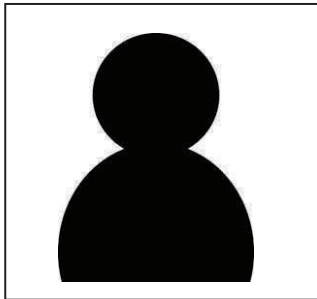
JR横浜線十日市場駅のすぐ近くで平成14年に開院しました眼科医院です。目の病気は細かい症状も気になることが多いと思います。当院ではそのような患者さんが気になっていること、心配されている点をはじめ診療の進め方などについても、出来る限りわかりやすく丁寧に説明することを心がけています。また、地域の皆さんに親しまれるとともに信頼される医院となれるよう、大学病院をはじめ地域の総合病院の先生方との連携を充実させることも大切な使命と考えています。

佐々木内科クリニック

港北区下田町2-16-54

Tel: 045-564-4776

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	-	●	●	-	-
15:00～19:00	●	●	●	-	●	-	-	-



院長 佐々木 賢二 先生

平成3年より下田町で内科・小児科クリニックを開業中です。胃カメラ、胃透視、注腸、ホルター心電図、呼吸機能検査、腹部エコー等可能です。地域密着で「かかりつけ医」として疾患にこだわらずに、診察を行っています。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 誠実

■趣味/特技: チェロ、宮澤賢治研究

あかねファミリークリニック

青葉区あかね台1-17-38

Tel: 045-985-6607

http://www.geocities.jp/akanefamily_clinic/

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	●	-
14:30～19:00	●	●	●	●	●	-	-	-

あかね台に開業してから家庭医として、小児科と内科の患者さんの診療やアドバイスをを行っています。私は小児科専門医ですが、診療や予防接種、健康診断は予約制ではありませんので、時間内にお気軽にご来院ください。



院長 黒川 明子 先生

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー:

■趣味/特技: 園芸、スキューバダイビング

西川内科・胃腸科

青葉区あざみ野1-26-6

Tel: 045-901-1241

<http://www.nishikawa-naika-ichokajp/>

院長 西川 真人 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00～18:00	●	●	●	-	-	-	-	-

風邪や胃腸炎などの内科全般から、糖尿病、高血圧症や高脂血症といった生活習慣病に至るまで、幅広く診療を行っております。特に、糖尿病診療には力をいれており、インスリン療法の患者さんにも対応しております。

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: 継続は力なり

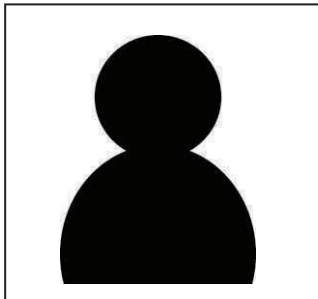
■趣味/特技: 読書

新石川クリニック

青葉区新石川1-7-1グランアあざみ野1F

Tel: 045-905-5266

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	-	●	●	-	-	-
16:00～18:00	●	●	●	●	●	-	-	-



院長 小田切 千里 先生

平成19年11月より、あざみ野駅東口すぐ近くで開業しております。これまでの大学病院、総合病院における幅広い診療経験を活かしつつ、患者さんの立場に立って診療や治療を行うことのできる医師でありたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

しばた形成外科・内科

青葉区美しが丘2-14-5リ-フ美しが丘ビル2F

Tel: 045-905-5711

<http://www.shibata-clinic.com/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	●	●	-	●	●	●	-	-
14:00～18:30	●	●	-	●	●	●	-	-



院長 柴田 裕達 先生

形成外科専門のクリニックです。地域の皆様に信頼される優しい「かかりつけ医」を目指し努力しております。

日吉こどもクリニック

港北区日吉本町1-9-26MKハイム1F

TEL: 045-560-1850

<http://www.hiyoshi-kodomo.com/pc/>

院長 石川 明道 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	-	-
14:00～18:30	●	●	●	●	●	●	-	-

当院は平成22年9月からの開業です。私は横浜市に生まれ育ち、小児科医31年目となります。これまでの診療経験を生かし、ホームドクターとしてお子様の元気で明るい笑顔のもとで皆様が心穏やかにすごせますよう、お子様ひとりひとりに応じた客観性のある診療を常に心がけてまいります。病気に限らず予防接種・子育て・栄養相談など皆様のご意見、ご要望を伺いながら、皆様にご信頼いただけるより良いクリニックを目指し、地域小児医療の向上発展に力をつくしたいと思います。お気軽にご受診ください。

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: 心穏やかでありたい

■趣味/特技:

新横浜かとうクリニック

港北区新横浜2-3-9新横浜金子ビル2階

TEL: 045-478-6180

<http://www.kato-clinic.rexw.jp>

院長 加藤 洋一 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	●	●	●	-	●	●	-	-
14:00～18:00	●	●	●	-	●	●	-	-

癌治療を外科医の経験を生かし、がん免疫の研究で得た免疫療法、大学病院での抗癌剤治療の実績、そして現在、聖マリアンナ医科大学放射線科非常勤講師として癌4大治療を統合し治療をしています。

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: できないことはいつかできるようになる

■趣味/特技: 研究、Web、車、テニス、スキー

新横浜整形外科リウマチ科

港北区新横浜3-6-4千歳観光ビル4階

TEL: 045-548-3887

<http://shinyokohama.web.fc2.com/>

院長 三笠 貴彦 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00～18:30	●	●	●	●	●	-	-	-

地域の皆さまに愛されるクリニックを目指し、患者様に満足いただけるよう治療の希望、ご相談など可能な限り柔軟に対応いたします。当院では、整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科を標榜し、専門的なスタッフによる治療およびリハビリテーションが可能です。また、通所リハビリテーション(デイケア)による術後リハビリテーションにも対応しております。常に向上心を持ち、専門性を高め、より質の高い医療・サービスを提供したいと考えております。

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: 地域の皆さまに愛されるクリニックになるため努力します

■趣味/特技:

TOPICS

コメディカルリレー紹介 vol.1 〈地域医療連携室〉

今月号より、病院内の様々な特色を持った部署・職種を順番に紹介していきます。



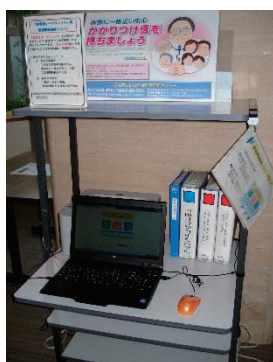
「地域医療連携の推進は、地域連携の充実にあり！」というスローガンを基に、地域との顔の見える連携協力作りに力を入れています
連携に関する事などご相談ください！

私たち地域医療連携事務室の業務は、医療機関との連携をはじめ、「横浜市の地域中核病院」である北部病院が急性期医療の発揮ができるよう、地域医療機関・病院・福祉保健・行政・地域住民の方などと連携協力し合いながら、様々な業務や活動を行っています。

《業務内容の紹介》

- ・ 地域医療機関からの紹介患者の診療予約
- ・ CT, MRI, PET/CT などの検査予約
- ・ 当日緊急の受診依頼への対応
- ・ 紹介元医療機関への来院報告等の返書管理
- ・ セカンドオピニオン、緩和ケア外来等の案内
- ・ 地域とのネットワークづくり
- ・ 地域医療機関との組織的連携のための運営
- ・ 病院広報活動 など

《「かかりつけ医」推進活動》



地域医療連携では患者さんに「かかりつけ医」を持って

もらうための広報を行政、医師会と協力し積極的に行っています。患者さんのお住まい、勤務地近くの医療機関が検索できるように、専用PC「検索君」（左記写真）や、医療機関検索専用ファイルリストを設置しています。事務もサポートし、一緒に検索のお手伝いをいたしますので、お気軽にお声がけください。

《その他の活動》

- ・ 地域医療機関との定期的組織的会議
- ・ 消防隊との意見交換会
- ・ 地域住民説明会

▼地域の方に「北部病院の機能や役割」や「救急車の適正利用」等の広報を行うなど地域に出た活動を積極的に行っています。



～当院では2人主治医制を推奨しています～

症状が落ち着いた(安定された)患者さんにつきましては、紹介元である「かかりつけ医」の先生へ、ご紹介させていただきます。また、「かかりつけ医」がいない方は、一緒にお探しいたします。ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

※2人主治医制：患者さま一人に対し、「当院の医師」と「地域のかかりつけ医」が互いに連携しながら共同で継続的に治療を行うことです。



北部イベント

ブラック・ジャックセミナーを開催しました

平成 26 年 3 月 29 日（土）、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社との共催で、「第 2 回 ブラック・ジャックセミナー」を開催しました。

このセミナーは医師の仕事を実体験を通じてより良く理解してもらうことで、医療への関心を高め、学生が将来の進路を選定する際の一助となることを目的とし、横浜市都筑区周辺の中中学生を対象に実施しました。

当日は地域在住の小学 6 年生から中学 3 年生までのあわせて 31 名が参加し、医師、看護師の指導のもと内視鏡トレーニング、手術縫合、超音波メスなどを体験しました。体験終了後は消化器センター石田文生教授より修了証と記念品がひとりひとりに手渡されました。

今後も引き続き、このような職業体験を実施していく予定です。



集合写真



内視鏡トレーニングブース
(腹腔鏡トレーニングボックスを使用した
輪ゴム移動)



自動縫合器・吻合器ブース
(スポンジを使用した縫合・吻合体験)



スーチャリングブース
(皮膚パッドを使用した開腹縫合体験)



ER ブース(心肺蘇生)
(医療用マネキンを用いた心臓マッサージ・人工呼吸の実施)



内視鏡室見学ツアー
(大腸内視鏡モデルを使用した内視鏡検査体験)



手術室見学ツアー
(器械類に触れ記念撮影)



超音波メスブース
(超音波凝固切開装置を用いて鶏肉切除)



修了式
(修了証・記念品の授与)

総合相談センターでは、患者さんやご家族の方から、“食事”、“栄養”に関する相談が多く寄せられます。相談の中には「入院している家族の食欲がない」、「なんとか口から食べさせてあげたい」など切実なご相談もあります。また、近年の高齢化に伴い、摂食・嚥下障害があるために栄養不良となっている患者さんが増加しています。今回は栄養管理の必要性について、栄養士の立場よりご案内致します。



■栄養管理の必要性について

当院では、入院患者さんに対しての栄養管理は診療の重要な位置を占めています。1人ひとりの患者さんに対して継続的に栄養評価を行い、特別な栄養管理が必要な場合は栄養サポートチームが介入し、栄養状態の改善あるいは悪化防止に努めています。そのような患者さんに対しては、主治医を中心に、専門医が嚥下造影検査(※)を行い、摂取可能な食事形態について評価し、看護師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士がチームで介入し、摂取状況や栄養状態を確認しながら食事の調整を行っています。

また、外来通院中の方でも、医師の指示のもと管理栄養士が栄養指導を担当しています。

《※嚥下造影検査とは》

食べ物が気管に入っていないかどうか(誤嚥、食物残留等)、安全に飲み込みが出来るかどうか(食品の種類、体位、摂取方法)について、レントゲンの透視検査を利用して評価する検査。

■摂食・嚥下障害にならないために

摂食・嚥下障害は高齢者に非常に多く、誤嚥性肺炎にもつながりやすいため、以下のような症状がある方、また、ご家族にそのような症状がみられる方は、担当の先生に一度ご相談されるとよいでしょう。いつまでも食事を美味しく楽しく食べられるよう、障害が重くなる前に、適切に対処することが大切です。

症状		具体的な症状
①	むせ	水やお茶を飲むとむせる。
②	咳	食事の途中から咳が出始める。
③	痰	食事を食べると痰が増える。
④	咽頭違和感、食物残留感	食後のどに食物が残った感じがする。
⑤	食事時間・食べ方の変化	食事に時間がかかる。上を向かないと飲み込めない。
⑥	声の変化	食事中、痰がからんだような声になる。
⑦	食事内容の変化	軟らかいものばかり食べるようになった。
⑧	食事時の疲労	食べると疲れる。
⑨	食欲低下	
⑩	体重減少	



■最後に

当院では高血圧、糖尿病、脂質異常症、保存期慢性腎不全、透析中の慢性腎不全、胃切除後の患者さんなどに対する栄養指導も多く行っています。「食事療法にお困りの方」、「嚥下障害」、「がんの化学療法中で食事が進まない」など、栄養指導をご希望の方は、まずは主治医にご相談ください。

また、総合相談センターでも相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

患者さん・医療機関へのお知らせ

専門外来のご案内 ＜足病外来＞

「歩行時の足の痛み」、「足の傷が治らない」、「むくみ」などで困っていることなどありませんか？平成 26 年 4 月より毎週木曜日に心臓血管カテーテル室にて「足病についての専門外来」を開設しました。足病に含まれる潰瘍・壊疽（主に閉塞性動脈硬化症）などは早期に受診することで重症化を予防できることもありますので、ご案内致します。

閉塞性動脈硬化症（ASO）とは？

動脈硬化が原因で血管（動脈）が狭くなり、血液の流れが悪くなる病気です。食生活の欧米化や人口の高齢化に伴い、最近増加しています。高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙、ストレス、運動不足などは閉塞性動脈硬化症（ASO）になりやすい因子といわれています。

閉塞性動脈硬化症（ASO）の兆候や症状

重症度／兆候	症状
I 度：無症状	最も初期には症状はありません。連続した運動に不安を感じるようになったら要注意です。また、しびれの強い方は、腰や腰からの神経に問題があります。
II 度：間歇性歩行	動脈硬化が進むと「間歇性跛行」という症状が現れます。間歇性跛行とは「 <u>一定の距離を歩くと、足が痛くなり歩けなくなるが、しばらく休むと、また歩けるようになる</u> 」という症状です。
III 度：安静時疼痛	動脈硬化が進行すると、じっとしていても足が痛むようになります。安静時疼痛という症状です。ジーンとした痛みのために夜眠れないなど、生活の質（QOL）が低下してしまいます。
四度：潰瘍／壊疽	最も進行した患者さんでは、動脈硬化により血液が届きにくくなった足先に、治りにくいジクジクした傷（潰瘍）ができます。足先への血流が全く流れなくなって、足先が腐ってしまう（壊疽）こともあり、最悪の場合、足を切断しなければならないこともあります。

治療について

血圧脈波(ABPI)検査（血管の詰まりを調べる）、超音波検査や CT 検査を行い、ASO の血管の狭窄・閉塞の状態を評価します。次にカテーテルによる入院精査を行い、薬物運動療法、血管内治療、バイパス手術など病状に応じた治療方針を決定します。血管内治療は低侵襲な治療法であり、刺し傷のみでバルーンやステント(金属性の網状の筒)を用いて血管を開通し血流を改善させます。手術が成功すれば痛みなどの症状は改善し、3、4 日程度の入院で退院となります。

外来日受診について

毎週木曜日午後 14 時～

※他院からの「ご紹介状」と「予約」が必要となります。

上記の様な気になる症状がありましたら、一度「かかりつけ医」を受診して頂き、紹介状をご用意下さい。

※予約制になりますので、初診紹介予約専用ダイヤルへお問い合わせください。



患者さんへのお知らせ・お願い

初診紹介予約専用ダイヤルを開設しました

平成 26 年 4 月より、紹介状をお持ちの方の「初診紹介予約専用ダイヤル」を設置致しました。今までは「初診紹介患者さん」、「再診(予約変更)患者さん」の電話が混在し電話が繋がりにくくなっていたため、スムーズな電話のお取次ぎができるように、今後は電話番号を分けて対応させていただきます。

また、初診でご来院の際はご予約をお取り頂いた方が、待ち時間が少なくなるためご活用ください。予約できる患者さんは以下の方が対象となります。

- 対象の方：紹介状をお持ちの方（※2）
- 電話番号：045-949-7143
- 対応時間：月曜日～金曜日：9 時～17 時



ご理解とご協力を
お願い致します！

【注意事項】

※1: ご予約が無い場合でも紹介状持参のうえ、直接ご来院頂いても受診は可能です。

(メンタルケアセンター、形成外科、脳神経外科、外科、歯科は完全紹介予約制となっています)

※2: 当院は救急車対応や、高度専門医療を提供するため、原則的に紹介外来制をとっています。他の医療機関と相互に連携協力し、患者さんの治療にあたっているため、初診となる患者さんは他の医療機関からの「紹介状(診療情報提供書)」をご持参いただくよう、ご協力お願いいたします。

※3: 予約変更や、再診のご予約の場合は、変更 専用ダイヤル(045-949-7489)へお電話下さい。

北部イベント

カンツォーネコンサートを開催しました

平成 26 年 3 月 29 日(土) 当院中央棟 1 階にて、坂爪いちお氏によるカンツォーネコンサートを開催しました。昨年に引き続き 2 回目のコンサートとなり、今回も 80 名以上の患者さんやご家族の皆様にお越しいただきました。

「オ ソレ ミーオ」や「フニクリ フニクラ」などのカンツォーネや、「朧月夜」などの日本歌曲まで、様々な曲を披露していただき、とても楽しく華やかな 2 時間となりました。

今年度も毎月ロビーコンサートの開催を予定しておりますので、是非お越しください。



編集後記



緑が目にしめる好季節となり、新年度が始まって、早 1 カ月がたちました。毎年、私たちのところには新 1 年生がピカピカのランドセルを得意気に見せに来てくれたり、中学生は何か恥ずかしそうに制服姿で外来に来てくれて、新年度を感じます。

北部病院は 13 年前、病院正面玄関前の集合航空写真でスタートしましたが、今年度は昭和大学江東豊洲病院が開院したため、我々の多くの仲間が異動をし、例年以上の変化を感じました。

本号では異動された先生方の紹介をしています。昭和大学横浜市北部病院に新しく参加していただいたメンバーの力を借りて、再スタートの気持ちで更なる発展を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。

広報委員会 委員 曾我恭司

北部病院だより 第 83 号

平成 26 年 5 月 1 日発行

発行責任者 世良田 和幸 (昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 北見 明彦 (広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。